

担い手の経営安定に資する貸出対応力強化の取り組み

農業所得の向上に向け、ニーズに応じた資金融資や生産コスト低減等への金融面からの支援に取り組んでいます。

JAバンク北海道の多様な農業資金

対象者や資金使途に応じ、さまざまな資金を設けています。道内JA統一資金のほか、北海道信連独自資金も設けており、JAバンク北海道が一体となって担い手等への金融対策強化に取り組んでいます。

【道内JA統一資金】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
JAフルスペックローン	農機具や格納庫など、比較的小口の設備資金	85,782
JA農業経営ステップアップローン	農業経営に必要な設備資金や中・長期運転資金	59,007
JAエクステンジローン	他の金融機関から借入している農業経営に係る事業資金の借換に必要な資金	2,246
JA営農応援ローン	農業経営に必要な短期運転資金	709
JA農業経営サポートローン	経営所得安定対策に係る交付金等入金までの間に必要となる運転資金	208
JA新規就農応援資金	新規就農者の農業経営にかかる設備・運転資金	323
JA再生可能エネルギー施設等資金	再生可能エネルギー利用の取り組みを支援するための発電・蓄電設備取得資金	74
JA畜産等経営資金	繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛（素牛）の育成・肥育に必要な運転資金等	377
JA中核農業者応援資金	既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用	1,290
JA農業後継者応援資金		590
JA担い手経営対策資金		288
JA農業経営緊急支援資金	飼料費などの生産資材の高騰あるいは災害などにより緊急に必要となる中・長期運転資金	8,189
JA農業経営維持継続資金	大規模災害下における営農の維持継続に必要な既往債務の借換並びに農業経営改善に必要な資金	8

【北海道信連独自資金（農家組合員向け）】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
農業経営ステップアップ資金	農地・施設・機械の取得等、農業経営改善に要する資金	3,624
信連 新規就農者資金	新規就農者が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（営農資金・住宅資金）	229
信連 農業法人経営応援資金	農業法人が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（運転資金・機械・設備資金）	2,660
信連 担い手経営対策資金	返済負担軽減や農業経営の安定化・高度化のための既往負債の借換並びに借換に必要な費用	759
信連 畜産等経営資金	繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛（素牛）の育成・肥育に必要な運転資金等	410
再生可能エネルギー資金	再生可能エネルギー事業にあたり必要となる資金（運転資金・設備資金）	1,201

【北海道信連独自資金（総合JA向け）】

（単位：百万円）

資金名	資金の使いみちなど	残高
農業経営緊急支援資金	生産資材の高騰あるいは災害などにより、緊急に必要なとなる運転資金をJAが農業者に融資する際の原資をJAに融通する資金	885
共同利用施設等設備資金	組合員が利用する共同利用施設等をJAが建設するための設備資金	28,133

当会では独自資金のほかに、制度資金や受託資金も取り扱っております。

【受託資金取り扱い状況】

（単位：百万円）

資金名	資金の使いみちなど	残高
日本政策金融公庫 （農林水産事業）	生産力の維持増進・食料の安定供給の確保に必要な資金	308,490
日本政策金融公庫 （国民生活事業）	教育を受けるために必要な資金	179
住宅金融支援機構	災害関連融資等政策的に重要なものを除き、原則として新規のお取り扱いはしておりません。	2,604

再生可能エネルギー資金の取り扱いについて

JAバンク北海道として、多様な関係者との連携のもと、農林漁業の健全な発展と調和がとれた再生可能エネルギーの利活用に取り組み、地域内での資源活用・循環による持続可能な社会実現に貢献するべく、再生可能エネルギー事業向けの融資に取り組みました。

新規実行額（令和7年度）：286百万円

地域畜産農家の糞尿処理問題の効率化を目的としたバイオガス施設の案件に対し資金対応しています。

JAバンク北海道サポート事業について

当会は、北海道農業の担い手を支援するため、平成26年度より「一般社団法人JAバンク北海道サポート基金」を設立し、『JAバンク北海道サポート事業』を展開しています。

この事業は、道内のJAバンクから農業資金および住宅ローンの融資を受ける農業者・組合員に対し、利子助成を行うことにより借入負担の軽減を図るものです。

さらに、担い手のニーズ等の調査・研究や環境に配慮した地域社会の実現に繋がる事業・地域貢献活動等、幅広く北海道農業をサポートする事業に取り組んでおります。

農業所得の向上支援

担い手の経営安定に資する貸出対応力強化の取り組み

農業者の所得増大やコスト低減に繋がる投資等への十全な資金対応を実現するため、多様な農業資金を用意し、農業者のニーズに適応した資金提案を実施しているほか、利子補給事業による借入負担軽減や農業融資に強い専門人材の育成を通じた事業実施体制の強化に取り組みました。

商談会への参加

販路拡大機会の提供を通じて道内農畜産物の付加価値向上を後押しするため、平成30年度より、北洋銀行が主催する「インフォメーションバザールin Tokyo」に、特別協力として参加しています。

令和7年度は、令和7年8月27日（水）～8月28日（木）の2日間で開催され、道内から10JAが出展いたしました。

当会は、当日のJA出展サポートに加え、バイヤー向けにJAの出展商品等を掲載した「バイヤーズガイド」を配布する等、道内JAの魅力発信に取り組みました。

相談・コンサル機能の発揮

北農5連JA営農サポート事業

JAグループ北海道で構成する「北農5連JA営農サポート協議会」において、喫緊の課題である労働力確保に向けた事業や多様化・高度化する農業者の経営課題やニーズに対応するコンサル機能の一層の充実に取り組みました。

- ①農業経営支援事業
- ②パートナー企業連携等支援事業
- ③第3者継承支援事業
- ④農業振興計画検証事業
- ⑤調査事業



生産資材価格高騰に対する取り組み

JAバンク北海道では、昨今の国際的な物価高騰を背景とした農業生産資材等の価格上昇等が農業経営を圧迫している中、低利な制度資金（農林漁業セーフティネット資金）と系統資金（農業経営緊急支援資金）の両輪で、農業者の資金繰り支援に取り組みました。

影響を受けた農業者に対する農林漁業セーフティネット資金および農業経営緊急支援資金の令和7年度取り扱い額は、236件、1,470百万円となりました。

組合員・利用者に寄り添うライフプランサポートの実践

利用者に対する生活資金の供給（貸出）を通じ、地域における資金循環の活性化と、利用者ニーズに適切した提案や、利用者のライフイベントに応じた最適な金融サービスを提供し、利用者の豊かな暮らしの実現に取り組んでいます。

ニーズに応じた生活資金の対応

JAバンク北海道は、生活資金の貸出を通じた地域における資金循環と地域活性化への貢献を目指し、組合員・地域の皆さまのニーズにお応えできるよう貸出強化に取り組んでいます。

住宅ローン利子助成の実施

JAバンク北海道では、環境に配慮した住宅取得等でJAの住宅ローン・リフォームローンをご利用される組合員を対象に、利子助成による借入負担の軽減を行い、組合員の生活の向上や環境に配慮した地域社会の実現に取り組んでいます。

ライフイベントに応じた金融商品・サービスの提供

組合員・地域の皆さまへの金融サービス提供に向けた取り組み

JAバンク北海道では、JA利用者の就職・結婚・退職等のライフイベントに応じて、組合員・利用者のライフプランに寄り添った金融サービスを提供し、利便性向上に取り組んでいます。

令和7年度は、定期貯金または住宅ローンの新たなご契約に加え、JAネットバンクや年金のお受け取りなどの対象となる取引のご利用や、新規で申込みをいただいた方を対象に抽選で、全道JA特産品をプレゼントする企画「JAバンクご利用でドローンとプレゼント」を実施しました。

また、JAネットローンをご利用いただいた方へファイターズ観戦チケットをプレゼントするキャンペーンを実施しました。

さらに、年金をお受け取りいただいている方に道産小豆を使用した「招福ようかん」などの特典をご用意し、利用者の皆さまに「JAならではの」魅力を感じていただける企画を実施しました。

【JAバンクご利用でドローンとプレゼント】

【JAネットローンキャンペーン】

【年金サックスプレゼント】

デジタル技術を活用したサービスの提供

JAバンク北海道では、アプリでインターネットバンキングを利用できる「JAバンクアプリプラス」に加えて、JAバンク口座からメルペイ、PayPay、ファミペイ、J-Coin Payへ即時チャージできるサービスや、通帳レス口座への切替え、税金等の支払いができる「JAバンクアプリ」など、デジタル技術を活用したサービスを提供しています。また、デジタルサービスの利用拡大を通じた利用者との“つながり強化”を目的として、利用登録者に抽選でえらべるPayが当たるキャンペーンを実施しました。今後も利用者の皆さまの利便性向上に向けて、サービスの充実に取り組んでまいります。



地域社会とのつながりづくりに向けた取り組み

JAバンク北海道では、地域活性化やJAバンクの認知度向上を目的として「北海道日本ハムファイターズ」と連携した取り組みを実施しております。

令和7年度は「全道野球教室」と「JAバンク北海道スペシャルナイター」を開催いたしました。

全道野球教室

JAバンク北海道とファイターズの共通理念である「地域共生社会の実現」に向けた取り組みの一環として、全道のJAと協力して道内6会場で野球教室を開催いたしました。

野球教室へはファイターズのベースボールアカデミーコーチを招聘し、野球を通して地域の子どもたちや保護者との交流を図りました。

各地の少年野球チームから計378名が参加し、教室終了後には参加者全員にJAバンクオリジナルタオルとJA農産物を参加者へ贈呈し、JAバンクの取組や地元農産物を身近に感じてもらうことで、JAバンクとのつながり拡大に努めました。

【野球教室の様子】



JAバンク北海道スペシャルナイター

令和7年8月に北海道日本ハムファイターズ対オリックスバファローズ戦に協賛し、「JAバンク北海道プレゼンツスペシャルナイター」を開催しました。

当日は来場者20,000名に、ファイターズとJAバンクキャラクター「よりぞう」がコラボレーションした「オリジナル応援団扇」を配布し、JAバンクのブランド認知向上に努めました。

来場者参加型の企画として、抽選で50名様に道内JAの特産品が当たるラッキープレゼントを実施し、農畜産物への関心を喚起しました。

また、試合イベントでは、全道野球教室の参加者を招待し、子どもたちと家族を対象とした体験型プログラムを実施することで、主に子育て世代を中心としたサポーター拡大に取組みました。

さらに会場内にJA特産品販売コーナーを設け、JA農畜産物のPRを行うとともに、ファイターズへJA特産品の詰め合わせを記念品として贈呈するなど、来場者に“JAらしさ”を直接アピールする機会を確保しました。

【当日の様子】**【配布した応援団扇】****【ラッキープレゼント】****【試合イベント（始球式、プレイボールコール）】****【記念品贈呈】****【JA特産品販売コーナー】**